

あいどぴあ

相原まちづくり協議会情報誌

2000年

1月1日

第 5 号

発行 相原まちづくり協議会
広報委員会

責任者 木下 眞

所在地 町田市相原町1241番地

TEL 042(774)8705



“相原JAO会”活動を開始

昨年9月にスタートした相原JAO会（オヤジの会）は、毎月第3木曜日に定例会を相原まちづくり相談所（いなげや駐車場隣）で開催、毎回10人以上のメンバーが集まり、徐々に参加者が増えています。顔合わせ集会を経て具体的な活動は竹炭焼きと決まりました。希望者は第3木曜日午後1時30分に出席して下さい。

竹炭焼きに挑戦 しています

竹炭は燃料としてだけでなく、水質浄化、調湿、脱臭など多様な活用方法があります。幸い相原町は竹林が多く、竹林は間引きしないとたけのこが出にくくなります。竹林の所有者に協力してもらい、間引き用の竹を活用し、炭を焼くことになりました。竹林の間引きと竹炭の効果、効能による生活環境を考えています。炭焼きの指導者として町田市シルバー人材センターの若杉幸生さんをお願いしました。

竹材の準備のため、大戸の吉沢政孝さんのご好意により、相原JAO会のみんで12月10日に同氏の竹林の孟宗竹を20本伐採し、枝を落として大地沢に運びました。

12月13日に葉を落とす作業を和気あいあいと行い、2日間で延べ27名が参加しました。竹の葉は町田市内のリス園に引き取ってもらい大変喜ばれました。

また、竹の枝で箒を作り、町の中が綺麗になると張り切っています。薬師池の近くで伏窯焼きをしている所があるので見学する予定です。

竹炭焼きは大地沢で実施し。窯としてドラム缶を使用します。窯作りは1月下旬に行い、炭焼きは2、3月に行う予定です。午後2時頃着火し、午後8時～10時頃火止め、翌日正午ごろ釜出です。

まず、みなさんと炭焼きの技術を修得して、子供たちにも伝えるなど、相原のまちづくり、ひとづくりにも役立てたいと念願しています。成功すれば、4月にも子どもたちが炭焼き体験ができるようになるかもれません。（担当 本徳貞良）

仮称

かい

『相原を学ぶ-隗』も活動が始まります

相原JAO会のもう一つの活動に、相原の歴史や自然、動植物等の愛好の士が集い初歩から勉強する「相原を学ぶ-隗」です。

この他にも囲碁や将棋、絵手紙やガーデニング等、いろいろ話題に上っています。

相原の自由時間いっぱいのお父さんどんでん参加して下さい。ご連絡は最寄りの相原まちづくり協議会の理事に声をかけて下さい。（担当 白川洋一）

5つのテーマで

取り組んでいます

相原まちづくり協議会は、取り組むテーマが多くなってきたため、昨年5月から5つのテーマを作って活動しています。各部門は①相原駅（責任者・杉崎理事）②区画整理（同横溝理事）③子供センター（同伊藤理事）④中央公園（同北島理事）⑤相原JAO会（同本徳理事）です。

協議会では、毎月9日午後7時30分から相原まちづくり相談所で理事会を開き、各部門の報告をもとに話し合っています。11月9日には同協議会の相談役でもある市会議員の八木邦治、井上正行、伊藤泰人の3氏に出席してもらい、情勢報告、意見交換をしました。

相原駅 建て替え工事 今年中に着工

1. ユニークで親しみのある駅舎へ

相原まちづくり協議会では、相原駅の建て替えにつぎまして、平成10年1月に結果の利用者にアンケートを実施し、この結果を参考にし、とんがり屋根で現代的和風の駅舎を町田市に要望してきました。市もこの要望案を基に、JRと自治省に折衝しましたところ、次の2つの問題が発生しました。

- ①自治省との問題は、地方財政健全化法により、最低限必要な設備の駅舎を建築し、JRに寄付するとのこと条件で、要望案の調整が必要であること。
 - ②建て替える相原駅舎の寄付を受けるJRが完成後、維持費のかかる駅舎を望んでいない。
- 町田市では、この問題点を自治省及びJRと交渉し、要望案に近いユニークな駅舎になるよう努力が続けられています。

2. 新駅舎の着工と設備は？

- ①この計画は、平成9年度にスタートし、現在は基本設計がほぼまとまった段階ですが、現地の地質調査は既に終了しています。
- ②駅舎の着工は平成12年で平成13年度末に完成の予定です。
- ③エスカレーターは、東西駅入り口より2階へ、改札から各ホームへ、上り下りそれぞれ1基ずつ、計6基の設置が計画さ

れています。

- ④エレベーターは、東西駅入り口よりそれぞれ1基ずつと、改札から各ホームまで2基の計4基となっています。

3. 市の行政報告と地元への説明会

- ①今年1月26日、27日、28日の町田市議会において相原駅舎についての行政報告が行われる予定です。
- ②これを受け、2月末までに相原まちづくりに協議会と相原地区連合町内会等、地元に対する説明会が実施される予定です。
- ③住民の皆様への説明会も計画しています。相原町では一日でも早い駅舎の完成を願っています。（担当 杉崎太吉）

区画整理は？

「区画整理」については先の長い話ではありますが、現在、測量は70%も済んでいます。市の財政事情も苦しい所ではありますが、地権者の参加など、地元の盛り上がりが必要で。

しかしながら、駅舎着工に当たり杭打ち機等重機の搬入に際し、道路の確保が必要になります。が、現状では厳しいものかとか分りませんので、暫定的でもよいかどうか線路脇（西側）の市有地を拡張するなどの措置が必要で。

更に、駅舎完成後、車や人の出入りをスムーズにするためにも南北道路の一部と駅前広場、線路脇と町田街道を四角に結び道路の確保も重要です。これも何とか引き続き出来ないものかと要望を続けてきましたところ、町田市では検討課題にのぼっていることでした。（担当 横溝廣喜）

子供センター2番館を 相原に！

相原の子供たちを取り巻く環境は徐々に世間の悪風と汚染されつつあります。一番よい環境と思っていた我々の周りにも少年非行の話題が出てまいります。

町田市では教育委員会の発案で町田市金森に子供センター1号館「ばーん」を建設し、開場以来、当局が驚くくらい積極的に活用され、一日平均300人も利用者があり、効果上々で2号館の新設が具体化されます。

市長は2号館を鶴川地区と発言していますが、準備さえ出来れば、相原先行も不可能

相原地区委員会と相原地区協議会、町内者会、共同活動し、市長と懇談を行いました。委員会は、市に協力を要請し、金森の「ばーん」1号館の計画と運営は、中高生の高校生と青少年中心で行われました。

相原でも受け入れ組織は青少年と母親たちの強力なパワーが必要で、こきまの活動をここに絞って準備していきます。(担当 伊藤勉)

相原中央公園

「中央公園」は当初の計画では11.5haでしたが、17.5haになりました。地権者は63人で、買収が終了したのは53%です。都市計画法によると公園は管理事務所以外の建物は建築できないことになっているので、箱も以外に公園に対する希望の山があります。多くのおみさんの希望を実現するためにも、計画地の意見を希望が入れられるように受け付けます。(担当 北島一夫)

浜美枝さんの まちづくり講演会開催される

女優・浜美枝さんの講演会を10月24日(日)午後1時30分から相原小学校体育館で、相原まちづくり協議会主催、相原地区連合町内会、財団法人相原保養会の後援で行いました。出席者は約150人でした。浜さんは、「こころの通う緑のまちづくり」をテーマに講演しましたが、その内容の概略は以下の通りです。



今日、八王子から相原駅に降りました。周辺に緑も多く、1万5千人の人口がある景観には考えられないが、さらに良いまちづくりを考えている皆さんからお招きいただき、ありがとうございます。

私も箱根に住んでいます。古い農家の鹿材を使って、家を作りました。標高800mの箱根の自然の中で4人の子供を育てまし

た。大都會の真ん中でなく、緑の多い中で学んできたことは、子供の形成によかったことと確信しています。

この相原も、子供たちのために、今後とも、すばらしい緑の住環境を大切にしたいまちづくりを進めて欲しい。

この間、千葉県我孫子市の第2小学校の校長先生の話しを聞く機会がありました。周りに畑があり、相原と似ている環境です。体験学習がこそ、学びの原点としているユニークな学校です。常勤の先生28名ですが、この他に70名以上の学校外の地域の先生がいるのです。

田んぼの先生、大工の先生、手話の先生、畑の先生、炭焼きの先生、戦争体験の先生などです。

体験を通して子供たちが、あのときは楽しかった、大変だったと思い出され、生きていく上で、力になるのではないかと語っていました。学校と地域が一緒になっているのです。人間らしく生きるのどうしたらいいか、子供の時の地域、環境が非常に重要です。

私は中学校を卒業して、すぐバスの車掌になりました。貧しい家でしたので、働かざるをえませんでした。その後、縁あって女優になりました。40歳から新しい活動を始めました。しかし、生涯、いくつになっても子供の時の環境が学び家なのです。いま自分が感じていること、やりたいこと、今後の選択など、みな子供の時のどう育まましたが、元になっているのです。

ですから、相原で育った人は、将来どこに住もうが、育った環境が大きく左右するのです。

私は東京の下町で育ちました。暮らしに色がありました。木のリンゴ箱を二つ合わせて、母がそこに一枚の藍の布をかければ、テーブルになりました。来客のある時は、野原で摘んできた花が生けられ、「わあ、きれいい…」と胸に焼き付いたものです。名月にはお団子を作ってそのテーブルです飾るので。物がなただけに、母親がいろいろ工夫してくれました。また、地域の人たちが学校から帰って来れば、「お帰り」を掛けてくれます。自分には地域で愛されているのだと子供たちが実感します。そうしてみんなが、声を掛け合い、助け合ってきた。生きてきました。

今、まちづくりに必要なのは、家族だけでなく、地域の人々に愛されている、頼りにされているというところが、実感できる地域にすることでありましょう。

市長懇談会 開催される

(連合町内会作成要約書抜粋)

寺田和雄市長と相原地区連合内町・相原まちづくり協議会・青少年健全育成相原地区委員会の懇談会が11月2日に行われました。市長は「ユニークな駅舎になるよう努力したい」と語っていました。

この中で、まちづくりに関連する寺田市長らの発言は、以下の通りです。

<相原駅の改築>

・市長

相原の当面する一番大きな問題は、相原駅の改築ということですね。これは、選挙の際にもお約束をして、取り組んできました。皆さんから大変ユニークなプランをお寄せ頂き、あまりにもユニークなので少しビックリしています。少しでもユニークな色合いを出したいということで、いずれ皆さんに図面をお見せして是非ご理解を頂きたい。駅舎建設の経費はJRと町田市のお負担になりますが、町田市の負担割合がものすごく大きく、自治省の承認を得ていかなければなりません。費用的にも膨大なお金になりますが、できることを一つずつ、着実にやっていきたい。

・質問

駅舎の着工の時期は予定通りか。区画整理の時に宅盤が多少上下すると思います。駅舎の高さレベル関係の整合性が検討される駅舎になるのですか。

・市長

当然やる以上は、そういうことを考えた上でやります。現在の相原駅はホームが低いので少し高くしたい。

・建設部長

今の予定でいきますと、平成12年のお盆過ぎから13年度末まで、1年半くらいの工期を予定しています。

<区画整理について>

・質問

区画整理と駅周辺の道路をどう考えていますか。

・市長

現況測量は今のところ約7割という状況です。駅周辺の道路については、買収でも何とかできないかということですが、区画整理となりますと、先の長い話です。場合によってはそういうことも視野に入れて、色々な角度から検討していきたい。予算的にも厳しい状況です。できるだけ、経費のからなる方法で、少しでも進めていきたい。

・質問

区画整理について地元の説明するなど検討して欲しい。

・建設部長

区画整理は現況調査が基本になります。現況測量ができないと、何もできません。区域の方で相当詳しく説明したつもりですが、その後だいぶ経っていますので、何かやっていかなければならないと思っています。相談所を設けていますので、いつでもお寄りになって、何かあった場合、私たちが出向くという体制をとっています。ぜひ、相談所を利用して欲しい。

<相原中央公園建設について>

・質問

相原中央公園建設計画の進捗状況をお聞かせ下さい。

・公園緑地課長

用地買収の進捗率は53%です。一番欲しい場所については、まだ目鼻がたっていませんが、道路側のところは買収していますので、それを整備している段階です。本格的な計画を市の職員と、地元の皆さんでやっていると、促進委員会に相原全体のメンバーの選出を申し出ています。まだ、ご頂いていませんが、それがまとまったら、ここで、少し業者の手も借りて、具体的な設計にかかかっていきたい。

<中央スポーツ広場に公衆用トイレ建設について>

中央スポーツ広場に公衆用トイレの建設をお願いしたい。

・公園緑地課長

排水問題がありますので、トイレを作ることは難しい。相原中央公園と合わせて、なるべく早く計画を立てて、排水が取れるようになったところで、トイレを優先して作っていききたい。

・市長

市長が出ている会合で、相当ガードを固めて言うようなことでは困りますので、仮設トイレがどんなものができますか、そして、できるだけ早く本設のトイレを考えていきたい。トイレの問題はなんらかの形で解決するように努力していきます。

<こどもセンター建設について>

・質問

2号館を是非、相原地区に作って頂きたい。

・市長

取りあえず市内に5カ所、旧町村に1カ所ずつ作るとういうことで、議会にお話しして、それが出来上がった、足りないところを押さえていくということです。2号館は鶴川方面に作りたいたいと思っています。それらしき土地は確保したつもりです。3号館は熱心な地域に作るうと活動されているところにすべきだと思っています。地域で大いに盛り上げて頂いて、南(金森)でやったような運動を重ねて頂きたい。

相原のホームページ 見たことありますか

インターネットが身近になっています。“ホームページ”という言葉聞いたことありますか。もしお宅のパソコンに電話と線が接続されていたら相原の情報が見ることが出来ます。ホームページ「あいほら」です。http://lian.webup.co.jp/aiharaで繋がります。

11町の動きが見えてきます。何か発言したり、写真を掲載したかったら伝言下さい。大歓迎です。

相原で活動する団体 いくつ知っていますか

相原の中には数多く団体があり、いろいろな活動がなされています。国や地方自治体から委嘱されている保護司会、民生委員協議会等の公的団体、商工会議所、法人会等の職域的なものも当然あります。11の町内会・自治会、その連合会、それから派生した相原まちづくり協議会や7つの老人会、11の子どもの会も健在ですし、青少年健全育成相原地区委員会も健闘しています。

相原独特のものでは、二つの小学校二つの中学校一つの幼稚園にあるPTAのほか各校に教育振興会なるものがあります。

いつも安心できる町田市消防団第5分団や交通安全協会相原支部、郷土芸能では坂下・陽田・中相原の各囃子連、大戸囃子保存会そして丸山獅子舞保存会なども貴重な存在です。

スポーツでは、相原ジャガーズ・相原口ピンスの少年野球、相原サッカークラブ、たちばな剣友会さらに丸山スポーツ少年団や相原ゲートボール同好会もあり、中央スポーツ広場運営委員会も張り切っています。

相原鼓笛隊は、町田では希な存在です。趣味の会では、丸山つつじ友の会、さちぐさ句会、堺の歴史を語る会(休会中)もあり、その他、ダンスの会・舞踏の会、民謡の会、合唱・コーラスの会・カラオケの会、将棋や囲碁の会、美術・書道・絵がみの会、陶器焼き物の会等沢山あります。

相原での各団体を側面から援助している財団法人相原保善会も国内でも数少ない地域公益法人です。

また、地域の建築職人の集まる東京土建という組合もある他、相原散策絵図を作った相原地域商業活性化の会もあり、相原初

の非営利法人(NPO)を申請中の夢連などもあります。さらに、これから新しい活動が始まるものにも相原JAO会があります。沢山の集団活動の中で育まれる相原のまちづくり(人づくり)にあなただも参加して下さい。何か新しい感動の毎日が始まるはずですよ。

大学と仲良くなる

相原町のなかには法政大学、東京家政学大学、周辺では東京造形大学や多摩美術大学があります。特に法政大と東京家政学大学、造形大では何かと地元との交流を考えて貰っています。

当協議会でも大学訪問、教授との意見交換等、前向きに接触の機会を持つようになっています。大学の施設、中でもホールや図書館・スポーツ施設は素晴らしいものばかりです。

相原には、このような施設が乏しい今、学園施設開放のお願いをしていくのも相原まちづくり協議会の仕事と考えています。更に、凄いいものは、大学本来の観知や人材の豊富点です。相原町に必要な技術や知識を惜しみなく提供して頂く環境づくりも早急な課題です。

相原のみならず！大学主催のいろいろな行事に積極的に参加し、大学を隣の庭にしていきませんか。

相原には、例えば桜美林大学の佐藤東洋士学長をはじめ法政大学の田中優子教授等多くの大学関係者が居住され、日頃より機会あるごとに援助を頂いております。子どもセンター、中央公園、境川流域改修等、あすの相原のため全力頂く所存です。皆様の御協力がますます重要です。

文責 島崎

編集後記

年内になんとか第5号！をとくこと取り組みましたが、とうとう正月返上の編集となりました。不慣れたパソコンでようやく、形にはなりませんが相原の動きを少しでも多く記事にしたいと、広報委員は頑張っていますので、お気軽にご意見やご要望をお寄せ頂きたいと思っております。2000年問題は大事もなく新年を迎えることができました。

今年も皆様、笑顔の1年でありますように！
編集委員 島、須、横、今

ご意見、ご要望等のご連絡は下記へ
木下 772-1093 今村 771-5654 島崎 772-0040
Fax 771-5654 770-7717